

# アイシンエコトープ かんきついきもの観察ガイド



2012年

アイシン精機 せいぎ株式会社

## “いきもの観察ガイド”について

アイシンエコトピアは、子ども達が自然の役割やリサイクルなど、環境について体験しながら学べる場所です。自動車のブレーキの部品などを作っているアイシン精機半田工場(愛知県半田市)の敷地の中にあります。

アイシンエコトピアの中には、アイシンエコトープがあります。ここは、植物や魚、昆虫などが育つ場所として、人の手で自然に似せて作った場所です。周辺の生きもののすみかとなるほか、子どもたちが自然とふれあい、環境について学ぶ場としての役割もあります。

この“いきもの観察ガイド”では、アイシンエコトープとそのまわりのエコ農場やエコの森で観察できる“いきものたち”を紹介しています。

アイシンエコトープを探検してみましょう。このガイドにのっていない“いきものたち”もたくさんいます。

アイシンエコトープは2011年3月にあたらしくなりました。  
その後、5月から7月までの2か月でこんなに植物が増えました。



2011年5月のエコトープ



2011年7月のエコトープ

# も く じ

## 【 植 物 】

### 草のなかま (草本類)

スギナ・ヒメシダ・カナムグラ・ミソソバ-----	1
ドクダミ・アレチヌスビトハギ・クズ・メドハギ-----	2
ヤハズソウ・カタバミ・ミソハギ・メマツヨイグサ-----	3
セリ・コヒルガオ・ワルナスビ・カワヂシャ-----	4
セイタカアワダチソウ・ニホンタンポポ・ノアザミ・ヨモギ-----	5
ホテイアオイ・ツユクサ・エノコログサ・クサヨシ-----	6
ススキ・チガヤ・ヤマアワ・ヨシ-----	7
ガマ・イガガヤツリ・カヤツリグサ・コウキヤガラ-----	8
タマガヤツリ・ハマスゲ・メリケンガヤツリ-----	9

### 木のなかま (木本類)

アラカシ-----	9
イヌビワ・ヒメユズリハ・ネズミモチ・キリ-----	10

## 【 動 物 】

### けもののなかま (哺乳類)

ヌートリア・タヌキ-----	11
----------------	----

### 鳥のなかま (鳥類)

コサギ・カルガモ-----	11
キジ・カワセミ・ハクセキレイ・カワラヒワ-----	12
ムクドリ-----	13

### ヘビやカエルのなかま (爬虫類・両生類)

カナヘビ・トノサマガエル・ヌマガエル-----	13
-------------------------	----

### 虫のなかま (昆虫類)

アオモンイトトンボ・ハグロトンボ・ギンヤンマ・ショウジョウトンボ--	14
シオカラトンボ・オオカマキリ・エンマコオロギ・ツユムシ-----	15
ショウリョウバッタ・トノサマバッタ・クマゼミ・アメンボ-----	16
ハイイロゲンゴロウ・アオドウガネ・ゴマダラカミキリ・クマバチ-----	17
イチモンジセセリ・アオスジアゲハ・ナミアゲハ・ベニシジミ-----	18
ヤマトシジミ・ヒメアカタテハ-----	19

### 魚・エビ・貝のなかま (魚類・その他の水生生物)

フナのなかま・タイリクバラタナゴ-----	19
メダカ・カダヤシ・ヌマエビのなかま・サカマキガイ-----	20

# このガイドのみかた

いきもの<sup>な</sup>の名まえ

いきもの<sup>せつめい</sup>の説明

いきもの<sup>しゃしん</sup>の写真

## カワチシャ

希少

川<sup>かわ</sup>のふちや田<sup>た</sup>んぼのまわりなどで見<sup>み</sup>られる。5~6月に白<sup>が</sup>やうすい紫<sup>むらさ</sup>色の小<sup>ち</sup>さな花<sup>はな</sup>をたくさんつ<sup>むか</sup>ける。昔<sup>むかし</sup>はよく見<sup>み</sup>られたが、今<sup>いま</sup>は数<sup>かず</sup>が減<sup>へ</sup>ってきている。よく似<sup>に</sup>た姿<sup>すがた</sup>のオオカワチシャという草<sup>くさ</sup>もある。エ<sup>え</sup>コト<sup>こ</sup>ープの池<sup>いけ</sup>の横<sup>よこ</sup>の湿<sup>し</sup>地<sup>ち</sup>で見<sup>み</sup>られる。



希少

【希少種】最近<sup>きしやうしゆ</sup>数<sup>さいきんかず</sup>が少<sup>すく</sup>なくな<sup>な</sup>ってきて、絶<sup>ぜつめつ</sup>滅<sup>めつ</sup>してしま<sup>し</sup>うおそれがあるいきもの。

外来

【外来種】もともと日本<sup>にほん</sup>にない、外国<sup>がいこく</sup>から日本<sup>にほん</sup>にもちこまれたいきもの。

注意

【観<sup>かん</sup>察<sup>さつ</sup>のとき<sup>とき</sup>に注<sup>ちゆう</sup>意<sup>い</sup>】

- とげなど<sup>とげ</sup>があ<sup>あ</sup>って、う<sup>う</sup>っか<sup>か</sup>り<sup>り</sup>さ<sup>さ</sup>わ<sup>わ</sup>るとケ<sup>け</sup>ガ<sup>が</sup>を<sup>を</sup>す<sup>す</sup>るお<sup>お</sup>そ<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>があるいきもの。
- 実<sup>み</sup>に毒<sup>どく</sup>があ<sup>あ</sup>ったり、よく似<sup>に</sup>たいいきもの<sup>い</sup>に毒<sup>どく</sup>があ<sup>あ</sup>るなど、う<sup>う</sup>っか<sup>か</sup>り<sup>り</sup>口<sup>くち</sup>に入<sup>い</sup>れてはい<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ないいきもの。
- 毒<sup>どく</sup>針<sup>はり</sup>や大<sup>おお</sup>きなあ<sup>あ</sup>ご<sup>ご</sup>があ<sup>あ</sup>って、う<sup>う</sup>っか<sup>か</sup>り<sup>り</sup>つ<sup>つ</sup>か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>え<sup>え</sup>ると、さ<sup>さ</sup>されたり、か<sup>か</sup>ま<sup>ま</sup>れたりするお<sup>お</sup>そ<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>があるいきもの。

## スギナ

日当たりのよい原っぱや土手によく見られるシダのなかま。木のスギに形が似ている。冬に枯れるが、春になると孢子をつける特別な茎をだす。これが、食べることのできるツクシになる。

エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## ヒメシダ

日当たりのよい池や田んぼの土手など、湿ったところで見られる。高さ 30~50cm ぐらいだが、水の多いところでは高さ 20cm ぐらいに小さくなる。葉はやわらかいが、茎は細くてやや固い。

エコトープの川ぞいで見られる。



## カナムグラ

注意

川原や道ばたなどの荒地で見られ、つるを伸ばして広がる。葉は手のひらのような形をしていて、表面に毛が生えていてざらざらする。茎にはとげがあり、ほかの木や草にからみつくことができる。

エコトープの川の近くで見られる。



## ミソソバ

注意

川や池のふち、田んぼの横の水路などでまともに見られる。ソバに似ていて、溝に生えるのでこの名前がついた。茎には下向きのとげがあり、指でさわるといたい。秋に赤っぽい花をたくさんつける。

エコトープの池や川ぞいで見られる。



## ドクダミ

ひかげのややしめった場所や水路ぞいによく見られる。葉はハート形で暗い緑色、ふちは赤っぽい。強いにおいがする。白い花をつける。昔から薬として使われている。エコトープの木のかげや、川の近くで見られる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## アレチヌスビトハギ

外来

あちみちみ たか  
空き地や道ばたなどで見られ、高さ1mくらいになる。葉は3枚で1組になっている。あきむらさきはな  
秋に紫の花をつける。実は4~5個がつながる。表面に小さなとげがあり、服などにつくため「くつつき虫」ともよばれる。エコトープの川の近くで見られる。



## クズ

あちみちみ  
空き地や道ばたなどでよく見られ、つるを伸ばしてよく広がる。葉は大きい。秋に房のような赤紫の花をつける。秋の七草のひとつ。根からはデンプンがとれる。エコトープ南側の草原一面に生えていて、エコトープに入りこもうとしている。



## メドハギ

ひあたりのよい空き地や道ばたなどでよく見られるマメのなかま。茎がかたく、まっすぐに立つ。葉は小さい。花はうすい黄色であまりめだたない。栄養の少ないところでも育つことができる。エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## ヤハズソウ

みち 道ばたや畑のまわりなどでよく見られる  
マメのなかま。葉は小さく、ひっぱると矢筈  
の形（矢の後端のこと、ジャンケンのチョコ  
キのような形）にちぎれる。花は小さくて  
あまり目立たない。  
エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## カタバミ

みち 道ばたや庭でもよく見られるマメのなか  
ま。葉は3枚のハートが合わさったような  
形をしている。春から秋に黄色い花をつけ  
る。ヤリのような形の実をつけ、さわると  
中の種がはじけ飛ぶ。  
エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## ミソハギ

しっち 湿地や田んぼのまわりなどで見られる。茎  
はまっすぐに立ち、高さ1mくらいになる。  
葉は細長い。お盆のころに赤紫のきれいな  
花をたくさんつけ、お盆のお供えの花と  
して飾られる。  
エコトープの池や川ぞいで見られる。



## メマツヨイグサ

外来

あ 空き地や道ばたなどでよく見られる。茎は  
高さ1.5mくらいになる。葉は細長くて先  
がとがっている。直径3~4cmの黄色い花  
をつける。花は夕方から咲きはじめ、朝に  
はしぼんでしまう。  
エコトープのまわりの草むらで見られる。



## セリ

注意

川や池のふち、田んぼの横の水路などで見られる。夏に白い小さな花をたくさんつける。春の七草のひとつで食べることができる。よく似た姿で毒のあるドクゼリという草もあるので食べる時には注意したい。エコトープの池や川ぞいで見られる。



## コヒルガオ

空き地や道ばたなどでよく見られ、つるを伸ばして広がる。葉が特徴的な形をしている。夏に白っぽいアサガオのような花をつける。アサガオとちがって昼に花が咲くので、この名前がついた。エコトープの川の近くで見られる。



## ワルナスビ

外来

注意

道ばたや畑のまわりなどで見られるナスのなかま。夏から秋にかけてナスに似た白や紫色の花をつける。名前は「悪いナス」という意味で、葉や莖にするどいとげがあり、さわると痛い。エコトープの川の近くで見られる。



## カワヂシャ

希少

川のふちや田んぼのまわりなどで見られる。5~6月に白やうすい紫色の小さな花をたくさんつける。昔はよく見られたが、今は数が減ってきている。よく似た姿のオオカワヂシャという草もある。エコトープの池の横の湿地で見られる。



## セイタカアワダチソウ

外来

空き地や道ばたなどで、まとまって生えている。名前のおり背の高い草で、高さ2mをこえるものもある。秋に黄色の小さな花をたくさんつける。

エコトープ南側の草原一面に生えていて、エコトープに入りこもうとしている。



## ニホンタンポポ

道ばたや畑のまわりなどでよく見られる。春に黄色い花が咲き、綿毛のある種をたくさんつける。外国からきたセイヨウタンポポと似ているが、花の下の「そうほうへん」がそりかえらないので区別できる。エコトープのまわりでよく見られる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## ノアザミ

注意

道ばたや畑のまわりなどで見られる。葉は切れ込みが深く、ふちにとげがある。春から夏にかけて、枝の先に赤紫の花をつける。冬になると茎がなくなり、「ロゼット」という地面に葉を広げた形になる。エコトープのまわりでよく見られる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## ヨモギ

道ばたや畑のまわりなどでよく見られる。葉は切れ込みがたくさんあり、お餅とまぜて「よもぎ餅」にして食べる。夏から秋にかけて目立たない小さな花をつける。エコトープの草むらや原っぱ、川ぞいなどで見られる。



## ホテイアオイ

外来

公園の池などでよく見られる。葉の根もとがふくれて浮きになっている。夏にうす紫の花をつける。増えすぎて池が埋まってしまうなど問題にもなったりする。エコトープの池にまとまって浮き、魚がかくれる場所になっている。



## ツユクサ

湿った道ばたや畑のまわりなどでよく見られる。夏から秋にかけて、2枚の花びらが目立つ青色の花をつける。花はアサガオと同じように朝に咲き、昼にはしぼんでしまう。エコトープの川ぞいで見られる。



## エノコログサ

空き地や道ばたなどでよく見られる。葉は細長い。夏から秋にかけて、茎の上にブラシのような毛の長い穂をつける。この穂で猫をじゃれさせて遊んだことから「ねこじやらし」ともよばれる。エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## クサヨシ

川や池のふち、田んぼの横の水路などで見られる。葉は細長く、ヨシとちがって冬にも緑の葉が地面の近くに残る。夏のはじめに小さな花の集まった穂をつける。エコトープの池ぞいで見られるが、ヨシよりも少ない。



クサヨシの穂(ほ)→

## ススキ

注意

あ ち かわら など で ま と ま っ て み ら れ る。  
空 地 や 川 原 等  
は ほ そ な が  
葉 は 細 長 く、ふ ち に ギ ザ ギ ザ が あ る の で、  
こ す る と 手 を 切 っ て し ま っ ち ぬ け る こ と が あ る。秋  
に ほ う き の よ う な 穂 を つ け る。秋 の 七 草 の  
ひ と つ で、お 月 見 の 飾 り に も 使 わ れ る。  
エ コ ト ー プ の ま わ り で よ く み ら れ る。



## 千ガヤ

ひ あ だ り の よ い 土 手 や 田 ぼ の ま わ り な ど  
日 当 た り の よ い 土 手 や 田 ぼ  
で ま と ま っ て み ら れ る。ス ス キ よ り も 背 が  
低 い。葉 は 細 長 く、秋 か ら 冬 に か け て 赤 紫  
色 に な る。夏 の は じ め に 白 色 の 穂 を つ け る。  
開 く 前 の 若 い 穂 は、か む と 少 し 甘 い。  
エ コ ト ー プ の ま わ り で よ く み ら れ る。



## ヤマアワ

ひ あ だ り の よ い 湿 っ た 空 地 や 海 岸 な ど で  
日 当 た り の よ い 湿 っ た 空 地 や 海 岸  
ま と ま っ て み ら れ る。葉 は 細 長 い。夏 か ら 秋  
に か け て う す い 緑 色 の 穂 を ま っ す ぐ 上 に  
伸 ば す、穂 は 枯 れ た あ と も 残 る。  
エ コ ト ー プ の 池 の 横 の 湿 地 で ヨ シ に 混 じ っ  
て み ら れ る。



## ヨシ

かわ い け の ふ ち で ま と ま っ て み ら れ る。背 が  
川 や 池 の ふ ち  
た か  
高 く 3m を こ え る も の も あ る。葉 は 細 長 く。  
夏 か ら 秋 に か け て 穂 を つ け る。冬 に は 枯 れ  
る が、枯 れ た 茎 を 刈 り 取 っ て 「よ し ず」と  
い う す だ れ を つ け る。ア シ と も い う。  
エ コ ト ー プ の 池 ぞ い で み ら れ る。



## ガマ

川や池のふちでまとまって見られる。葉は細長い。夏にソーセージのような茶色の穂をつける。秋になると穂がくずれて、中から綿毛のついた種が出てくる。エコトープの池ぞいで見られ、ガマより小さいヒメガマも混じっている。



## イガガヤツリ

海岸の近くの湿ったところで見られる。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に赤茶色の小さな花の集まり(穂)をつける。これがクリのイガに見えることからこの名前がついた。エコトープの川ぞいで見られる。



## カヤツリグサ

空き地や道ばた、畑のまわりなどでよく見られる。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に緑色や茶色の小さな花の集まり(穂)をつけ、線香花火のようにも見える。エコトープの川ぞいで見られる。



## コウキヤガラ

海岸の近くの湿ったところで見られる。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に茶色の長細い卵のような形の小さな花の集まり(穂)を1~6個つける。エコトープの池や川ぞいで見られる。



## タマガヤツリ

川や池のふち、たんぼの横の水路などで見られる。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に緑色の1cmくらいの丸い形の小さな花の集まり（穂）をつける。秋になると穂は黒っぽい茶色になる。エコトープの池や川ぞいで見られる。



## ハマスゲ

道ばたや海岸の砂浜などで見られ、乾燥したところでもよく育つ。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に赤茶色の長さ1.5~3cmくらいの長細い小さな花の集まり（穂）をつける。エコトープの川ぞいで見られる。



## メリケンガヤツリ

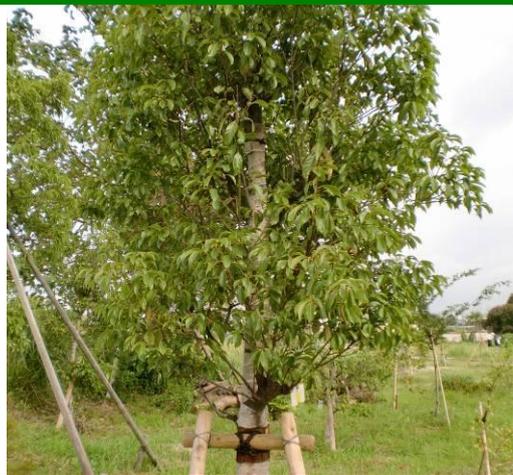
外来

川や池のふちなどでよく見られる。葉はとても細長い。夏から秋にかけて、かたい茎の先に緑色やうすい茶色の穂をつける。大きくなるため、増えすぎるとほかの川ぞいの草が減ってしまうおそれがある。エコトープの川ぞいで見られる。



## アラカシ

里山に多く見られる木で、公園や学校にも植えられている。葉はかたく、まん中から先の方のふちには、小さなギザギザがある。冬になっても葉が落ちない。春に花が咲き、秋には実（ドングリ）がなる。エコトープのあちこちに植えられている。



## イヌビワ

おもに海の近くの山に見られる。葉のふちにギザギザはない。冬になると葉が落ちる。オスとメスの木があり、メスの木にはイチジクのような黒い実がなり、食べることもできるが、あまりおいしくない。エコトープのあちこちに植えられている。



## ヒメユズリハ

注意

おもに海の近くの山に見られる。枝の先に葉がまとまってつく。冬になっても葉が落ちない。オスとメスの木があり、メスの木には白い粉がついた黒い小さな実がなるが毒があるので食べられない。エコトープのあちこちに植えられている。



## ネズミモチ

里山に多く見られる木で、公園や学校にも植えられている。葉は厚く、ふちにはギザギザがない。冬になっても葉が落ちない。夏に白い小さな花がたくさん咲き、秋には黒い小さな実がたくさんなる。エコトープのあちこちに植えられている。



## キリ

木が小さいときは葉が大きく、五角形のような形をしている。冬になると葉が落ちる。夏のはじめにうすい紫色の花をつける。種は風で飛びやすい形になっている。エコトープの南側に大きなキリの木があり、シンボルツリーになっている。



小さいときの葉→

## ヌートリア

外来

体長50～70cm、尻尾の長さは35～50cm。長くて鋭い前歯をもつ。後ろ足の指の間には水かきがあり、泳ぎがとくい。水辺の近くに住み、水辺の植物の葉、茎、根などを食べる。エコトープの水路でたまに見られる。



エコトープの水路でおよぐヌートリア

## タヌキ

体長40～50cm、尻尾の長さは15cmくらい。目のまわりが黒い。夜に動きまわり、果物、野菜、カエル、虫、ザリガニなど、なんでも食べる。エコトープ南側の草原にいて、夜になるとエコ農場の野菜などを食べにくる。



夜にエコトープにやってきたタヌキ ↑

## コサギ

全長55～60cmくらい。体は白く、足とくちばしは黒い。飛ぶ時には長い首を縮めて飛ぶ。川の浅いところや田んぼを歩いて、ドジョウ、カエル、ザリガニなどをつかまえて食べる。エコトープの池でたまに見られる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## カルガモ

全長60cmくらい。体は黒っぽい茶色で、足はオレンジ色、顔に2本の黒い線がある。くちばしは黒で、先は黄色。池の水面に浮いて泳いだり、水にもぐって水の中に生えている草などを食べる。エコトープの池でたまに見られる。



## キジ

ぜんちょう 全長60～80cm くらい。オスは顔が赤く、  
むらさき みどり はね 紫 や 緑 の 羽 が きれい で 目 立 つ。メスは茶  
いろ めだ 色 であまり目立たない。地面の上を歩きな  
がら、しょくぶつ たね むし 植物の種、虫やクモなどを食べる。  
みなみがわ くさはら 南側の草原にいて、エコトープでもたまに  
み 見られる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## カワセミ

ぜんちょう 全長17cm くらい。頭から背中にかけて  
あおいろ なか きれいな青色で、お腹はオレンジ色。池の  
そばの木に止まって、さかな さが み 魚などを探し、見つ  
けると水に飛び込んで大きく長くくちば  
みす と みす しく おお なが  
しでつかまえる。  
エコトープのいけ み 池でたまに見られる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## ハクセキレイ

ぜんちょう 全長20cm くらい。夏のはね あたま せ なか  
尾にかけて黒く、顔とお腹は白。冬のはね  
ぜんたいてき はいいろ よ に とり  
全体的に灰色っぽくなる。良く似た鳥のセ  
グロセキレイは顔が黒い。  
ふゆ おお み 冬に多く見られ、エコトープの みす べ はたけ  
水辺や畑な  
どを歩いて、むし ある むし  
虫をつかまえている。



## カワラヒワ

ぜんちょう 全長14cm くらい。体は黄色っぽい茶色  
で、つばさと尾に黄色の模様があり、飛ぶ  
めだ と 目立つ。くちばしは肌色で太い。林や  
くさち はたけ 草地、畑などでしょくぶつ たね た 植物の種を食べる。町の中  
ではあち ち 空き地のタンポポのたね た 種なども食べる。  
み 見られる。  
エコトープでたまに見られる。



## ムクドリ

ぜんちょう 全長25cm くらい。からだ はいいろ 体は灰色っぽいが、  
くちばしと足がオレンジ色で目立つ。ほほ  
しろ もよう 白い模様がある。つち なか 土の中にくちばしを入  
れてむし た 虫を食べたり、くだもの き み た 果物や木の実を食べる。  
まち なか 町の中でもよく見られる。  
エコトープやまわりのくさち 草地でよく見られ

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## カナヘビ

ぜんちょう 全長18~25cm くらいで、お なが からだ 尾は長い。体  
はちゃいろ ひょうめん 茶色で、表面のうろこはかさかさし  
たかん くさはら 感じ。草原のまわりや庭など、ひら あか 開けた明る  
いばしょ むし 場所にいる。虫、クモ、ミミズなどをつ  
かまえてた 食べる。  
エコトープやまわりのくさち 草地でよく見られる。



## トノサマガエル

みどりいろ はいいろ からだ くろいろ 緑色や灰色っぽい体で、黒色のもようがあ  
る。ジャンプがとくいで、むし 虫やクモなどを  
つかまえてた 食べる。はる なつ 春から夏のはじめに水  
のなか かんてん につ たまご う 中に寒天で包まれたような卵を産み、冬  
はつち なか どうみん 土の中で冬眠する。  
エコトープのいけ すいろ くさち 池や水路、草地で見られる。



## ヌマガエル

はいいろ ちやいろ からだ せなか ちい 灰色っぽい茶色の体で、背中には小さな  
「いぼ」がたくさんある。おなかにしろ いけ  
やたんぼでよく見られる。はる なつ たまご 春から夏に卵を  
産み、冬はつち なか どうみん 土の中で冬眠する。  
エコトープのいけ すいろ くさち 池や水路、草地で見られる。  
トノサマガエルよりちい 小さい。



## アオモンイトトンボ

ほそなが むね みどりいろ  
細長く、胸が緑色のトンボ。メスはオスと  
おな ちゃいろ  
同じか茶色っぽい。池や田んぼでよく見ら  
れる。みすべ と むし た  
水辺を飛びながら虫などを食べる。  
ようちゆう  
幼虫はヤゴとよばれ、水の中にすむ。エコ  
トープのいけ でよく見られるが、よく似たア  
ジアイトトンボもおお  
も多い。



## ハグロトンボ

ほそなが くろ と  
細長く、黒っぽいハネでヒラヒラと飛ぶト  
ンボ。オスの体はきんみどりいろ にかがやき、メス  
はくろ へいち みすべ み  
は黒い。平地の水辺でよく見られる。水辺を  
と むし た ようちゆう  
飛びながら虫などを食べる。幼虫はヤゴと  
よばれ、みす なか  
よばれ、水の中にすむ。  
エコトープのいけ でよく見られる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## ギンヤンマ

あたま むね きみどりいろ なか きいろ ちゃいろ  
頭と胸が黄緑色で、お腹は黄色っぽい茶色  
をしている。オスはなか むね あいだ みすいろ  
もようがある。へいち みすべ み  
平地の水辺でよく見られる。  
みすべ と むし た ようちゆう  
水辺を飛びながら虫などを食べる。幼虫は  
やご とよばれ、みす なか  
よばれ、水の中にすむ。  
エコトープのいけ かわ み  
池や川でよく見られる。

幼虫  
(ヤゴ)



## ショウジョウトンボ

からだ か め た ちゃいろ  
オスは体がまっ赤で自立つが、メスは茶色  
であまり自立たない。ハネはとうめい ね  
はちゃいろ へいち みすべ み  
茶色。平地の水辺でよく見られる。水辺を  
と むし た ようちゆう  
飛びながら虫などを食べる。幼虫はヤゴと  
よばれ、みす なか  
よばれ、水の中にすむ。  
エコトープのいけ でよく見られる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## シオカラトンボ

オスは水色で、お腹は白くて塩をふいているように見える。メスは淡い茶色。平地の池や田んぼでよく見られる。水辺を飛びながら虫などを食べる。幼虫はヤゴとよばれ、水の中にすむ。

エコトープの池や川でよく見られる。



メス

幼虫  
(ヤゴ) →



## オオカマキリ

緑色または茶色の大きなカマキリ。草むらや木の上で多く見られ、開けた原っぱにはあまりいない。あらゆる虫を前足のつよいカマでつかまえて食べる。カエルやトカゲを食べることもある。

エコトープの草むらで見られる。



幼虫

## エンマコオロギ

こげ茶色で、頭に光沢のある大きなコオロギ。原っぱや畑などにすみ、家のまわりでもよく見られる。オスはハネをこすりあわせて、コロコロリーと、大きな声で鳴く。幼虫は黒っぽく、ハネが小さい。

エコトープの湿った草むらで見られる。



## ツユムシ

全身がきれいなうす緑色の、やや小さめのキリギリスのなかま。山や平地の草むらでよく見られる。草の葉を食べる草食性で、明るい草原で背の高い草にとまっていることが多い。

エコトープの草むらで見られる。



## ショウリョウバッタ

あたま がとがった 緑色または茶色の大きなバッタ。特にメスは大きく、8cmにもなる。明るい原っぱでよく見られ、おどろくとハネを使って遠くまで飛ぶ。オスは、飛ぶときにチキチキという音をたてる。エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## トノサマバッタ

緑色または茶色の大きなバッタ。日本のバッタの仲間では一番大きい。空き地や川原など、開けた場所にすみ、ススキなどの草の葉を好んで食べる。かなり遠くまで飛ぶことができる。エコトープの草むらや原っぱで見られる。



## クマゼミ

体長6~7cmくらい。黒っぽい体に透明のハネをもつ。日本で一番大きいセミ。木の樹液を吸い、オスは午前中にシャアシャア、ワシワシワシと大きな声でさかんに鳴く。幼虫は土の中で育つ。夏にエコトープの木の幹で見られる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## アメンボ

カメムシのなかまで、池や田んぼの水の上をスイスイと滑っている。飴のような甘いにおいがするため、この名前がついた。水に落ちた小さな虫などの体液を吸う。長い距離を飛んで移動することもある。エコトープの池や川でよく見られる。



## ハイロゲンゴロウ

ゲンゴロウのなかまではもっとも普通で、池や田んぼでよく見られる。学校のプールでも見られることがある。オールのような後ろ足を使って水中をすばやく泳ぎ、小さな魚や昆虫などを食べる。エコトープの池や湿地で見られる。



## アオドウガネ

にぶい光沢がある緑色のコガネムシ。お尻には長い毛がはえている。いろいろな植物の葉を食べる。夜になると街灯にもよく飛んでくる。幼虫は、土の中で植物の根などを食べて育つ。エコトープの草むらなどで見られる。



## ゴマダラカミキリ

注意

黒色のからだに白い点々もようのあるカミキリムシ。触角が長く、体の1.5倍くらいの長さがある。家のまわりでもよく見られる。力のつよい大きなあごでいろいろな木を食べる。幼虫は木の中にすむ。エコトープの木のまわりで見られる。



## クマバチ

注意

ずんぐりとした体のハチ。体は黒色で、胸には黄色の毛がびっしり生えている。家のまわりでもよく見られ、いろいろな花の花粉や蜜を集める。メスはお尻に毒針があり、おどろくと人を刺すこともある。エコトープの花に飛んでくる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## イチモンジセセリ

ちやいろ しろ てん いちもん  
茶色くて、ハネに白い点がつながった一文  
字の模様を持つ小さなチョウ。家のまわり  
でもよく見られ、花の蜜を吸う。

ようちゆう  
幼虫は、イネ、ススキ、エノコログサなど  
の草を食べる。

はな と  
エコトープの花に飛んでくる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## アオスジアゲハ

くろじ あおじろ いっぽんはい  
黒地に青白いすじが一本入ったアゲハチョ  
ウ。早いスピードで、木や花のまわりをめ  
まぐるしく飛び回る。

ようちゆう こうえん がっこう う  
幼虫は、公園や学校にもよく植えられてい  
るクスノキの葉を食べる。

はな と  
エコトープの花やクスノキに飛んでくる。



2匹がつながっています

## ナミアゲハ

まち なか  
アゲハチョウともよばれる。町のまん中か  
ら山まで、いろいろな環境で見られる。

ようちゆう みどりいろ おお  
幼虫は緑色の大きなイモムシで、ミカンの  
なかまの葉を食べる。

はな と のうじょう  
エコトープの花に飛んできたり、エコ農場  
のミカンの木に卵を産みにくる。

写真準備中

(2012年 冬 公開予定)

## ベニシジミ

はるいちばん はいいろ  
春一番にでてくるオレンジと灰色のハネの  
小さなチョウ。原っぱや家のまわりでもよ  
く見られる。地面の近くをひらひらと飛び、  
花の蜜を吸う。

ようちゆう は た  
幼虫はスイバやギシギシの葉を食べる。

はな と  
エコトープの花に飛んでくる。



## ヤマトシジミ

ハネの表は水色で、裏は灰色に黒い点がち  
らばっている小さなチョウ。原っぱや家の  
まわりでもよく見られ、地面の近くをひら  
ひらと飛び、花の蜜を吸う。  
幼虫はカタバミの葉を食べる。  
エコトープの花に飛んでくる。



## ヒメアカタテハ

オレンジに黒い模様のあるチョウ。家のま  
わりから山まで、いろいろな環境で見られ  
る。すばやく飛んで花の蜜を吸う。  
幼虫はヨモギなどの葉を食べ、葉を丸めて  
巣をつくり、その中でさなぎになる。  
エコトープの花に飛んでくる。

写真準備中

(2012年冬 公開予定)

## フナのなかま

フナのなかまには、ギンブナ、キンブナ、  
ゲンゴロウブナなどがいるが、見分けるの  
はむずかしい。川や池でよく見られる。水の  
よごれにも強い。水の中の虫や藻など、な  
んでも食べる。  
エコトープの池で泳いでいる。



## タイリクバラタナゴ

外来

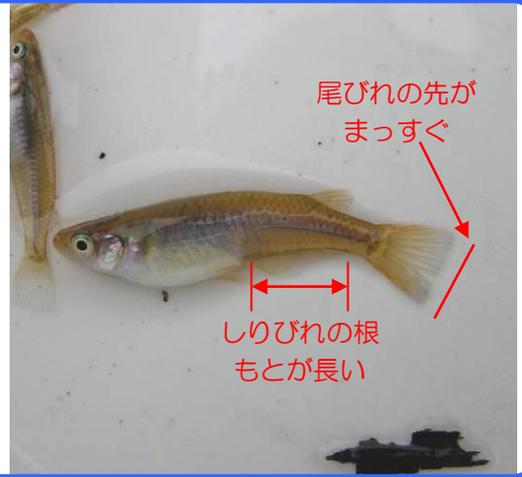
川や池でよく見られ、水の中の虫や藻など  
を食べる。卵を産む季節になると、オスは  
青やオレンジのきれいな色になる。メスは  
卵を産むための管がお尻からのびて、ドブ  
ガイなどの貝の中に卵を産む。  
エコトープの池で泳いでいる。



## メダカ

希少

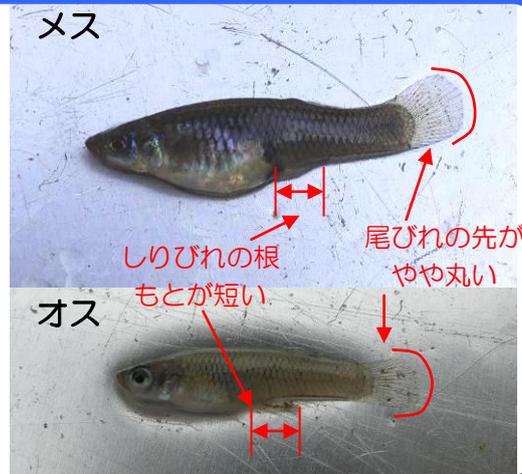
小さい魚で、昔は小さな川や水路でたくさん見られたが、今は数が減ってきている。外国から持ちこまれたカダヤシに似ているが、しりびれや尾びれの形などで見分けることができる。エコトープの川や池で見られる。



## カダヤシ

外来

メダカによく似た小さな魚で、水のごれにも強く、最近川や水路で増えてきている。外国から持ちこまれた魚で、すぐに増えてしまうので、法律で自然の川や池に放すことが禁止されている。エコトープの川や池で見られる。



## ヌマエビのなかま

長さ1～数cmの小さなエビ。いろいろな種類があるが、見分けるのはむずかしい。藻を食べるので、水そうで魚といっしょに飼ったり、釣りのエサにも使われる。エコトープの川や池の水草の根もとなどで多く見られる。



## サカマキガイ

外来

大きくても1cmぐらいの小さな巻貝。水のごれにも強く、最近川や水路で増えてきている。外国から持ちこまれた貝。とがった方を上にしたとき、左がわに開いた口が見えるので、ほかの貝と区別しやすい。エコトープの川や池で多く見られる。



この“いきもの<sup>かんさつ</sup>観察ガイド”は、<sup>げんちちょうさ</sup>現地調査および<sup>ききと</sup>聞き取り調査の結果に基づき、<sup>アイシンエコトープ</sup>アイシンエコトープで見られた<sup>おも</sup>主な種について<sup>かんたん</sup>簡単な<sup>かいせつぶん</sup>解説文を<sup>けいさい</sup>掲載したものです。

#### 【<sup>げんちちょうさ</sup>現地調査】

<sup>せんもんか</sup>専門家による<sup>げんち</sup>現地での<sup>かくにんちょうさ</sup>確認調査を<sup>おこな</sup>行いました。

- 2011年<sup>ねん</sup> 7月<sup>がつ</sup>（<sup>なつ</sup>夏）
- 2012年<sup>ねん</sup> 2月<sup>がつ</sup>（<sup>ふゆ</sup>冬）

#### 【<sup>ききとちょうさ</sup>聞き取り調査】

2011年<sup>ねん</sup> 4月<sup>がつ</sup>（<sup>はる</sup>春）から 2012年<sup>ねん</sup> 2月<sup>がつ</sup>（<sup>ふゆ</sup>冬）の<sup>あいだ</sup>間に<sup>アイシンエコトープ</sup>アイシンエコトープで<sup>み</sup>見たいきものについて、<sup>げんちじょうちゅうしょくいん</sup>現地常駐職員から<sup>おこな</sup>ヒアリングを<sup>おこな</sup>行いました。